

泉南市教育委員会会議 令和8年第7回定例会会議録

(1) 日時・場所

令和8年7月15日(水)

午後3時00分 開会 午後3時36分 閉会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

(2) 教育委員会出席者

上中 和則	教育長
湊 久晶	教育委員会委員(教育長職務代理者)
飯沼 治美	教育委員会委員
辻野 治重	教育委員会委員
渡邊 香代	教育委員会委員

(3) 事務局出席者の職氏名

桐岡 秀明	教育部長
三野 薫	教育部参与兼指導課長
西山 徹	教育総務課長
大植 睦子	教育総務課参事(学校給食担当)
辻 康治	生涯学習課長
森 大輔	生涯学習課参事(人権・スポーツ担当)
松本 剛	生涯学習課主幹(青少年センター館長)
上柴 忠孝	文化振興課長
石田 剛王	学力向上対策室長兼指導課参事(指導担当)
野々瀬 祐次	人権国際教育課長
小林 克子	教育サービス課長兼教育サービス係長

(4) 休憩・遅刻等について

(5) 会議録署名者の氏名

上中 和則
辻野 治重

泉南市教育委員会会議 令和 8 年第 7 回定例会 議事日程

令和 8 年 7 月 15 日（水）午後 3 時 00 分 開会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

日程番号	議案等の番号	件 名
日程第 1		開 会
日程第 2		会議録の承認
日程第 3	報告第 1 号	会議録署名者の指名
日程第 4	報告第 2 号	教育長報告
日程第 5	報告第 2 号	事務局報告
日程第 6	報告第 2 号	（1）教育委員会事務局職員の人事異動について
日程第 7	議案第 1 号	泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会委員の委 嘱又は任命について
日程第 8	議案第 2 号	泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱につい て
	議案第 3 号	泉南市立図書館協議会委員の任命について
		その他
		・ 泉南市立学校園における学級閉鎖等状況について
		・ JET プログラムメンバーについて

午後3時00分開会

○上中教育長 それでは定刻になりましたので、ただいまから、泉南市教育委員会会議令和8年第7回定例会を開催いたします。

出席者が過半数であり、定足数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録の承認についてお諮りいたします。

泉南市教育委員会会議令和8年第6回定例会会議録は、すでに案として委員の皆様へ配付し、御確認をいただいておりますので、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって泉南市教育委員会会議令和8年第6回定例会会議録は、承認することに決定いたしました。

次に日程第2、会議録署名者の指名を行います。

本日の会議録署名者は、泉南市教育委員会会議規則第13条により、教育長のほかに教育長において、辻野委員を指名いたします。

次に日程第3、報告第1号、教育長報告を議題といたします。

(報告開始)

○上中教育長 それでは、前の写真を見ていただきながら、教育長報告をさせていただきます。

まず、この写真は、泉南市内の様子でございますが、どこかお分かりになりますでしょうか。

はい、渡邊委員。

○渡邊委員 一丘小学校からの道ですか。

○上中教育長 そうです。

はい、飯沼委員。

○飯沼委員 電車から見える風景ですね。

○上中教育長 そうです。JR阪和線の和泉砂川駅から新家駅方面へ電車に乗り、UR都市機構泉南一丘団地を抜けた辺りで、海側を見るとこの風景が出てきます。写真の左上に、一丘小学校の体育館と校舎が映っています。その下を駆け巡るように、砂川桎井線がほぼ出来上がりつつあります。電車から見ると、きれいな景色が見えます。

教育長報告ということで、今日は6点お話をさせていただきます。

まず、子育てフォーラムが7月2日に行われました。泉南市総合福祉センターあいぴあ泉南で、市内の子育てに関わる関係機関が、子育てを頑張っている親子を応援するために毎年子育てフォーラムを開催しております。大会議室の真ん中に、子どもたちが喜びそうな遊び道具を広げて、たくさん子どもたちが遊んでおりました。この日は、33組の親子が参加してくださいました。左側の写真は、図書館の職員とCIRが絵本の読み聞かせをしていました。ピンクの服の方が主任児童委員で、たくさん来てくださっていました。右側の写真は、歌や踊りを楽しんで、ところどころで保護者の方がスタッフと子育ての悩みなどの話をしている様子です。あらかじめ参加者に、相談があったら相談フォームに書いて提出してもらっていて、関係機関の先生方がそれを事前に読んで、何番の方はこんな悩みを持っているということを把握しています。参加者の肩に、番号を貼っているので、番号を見て、関係機関の方が近寄っていき、事前に書かれていた悩みの相談に乗っていました。保護者の方が相談している間、子どもは別の関係機関の方がお世話をするというように、みんなで協力していました。子育てに関わるたくさん機関が、皆さんを応援していますよというメッセージになったかなと思います。

次は7月5日、泉南市吹奏楽団が第60回定期演奏会を開いた様子でございます。泉南市は昔から吹奏楽が盛んです。私の現役時代は小学校の運動会で高学年のマーチングパレードが盛

んでした。一丘中学校の吹奏楽部は、全国大会に出場するくらい力をつけて、活躍は顕著だったと思います。卒業すると、泉南市吹奏楽団で活躍するという伝統が脈々と受け継がれているように思いました。

次は、7月12日付で湊委員が再任となりましたので、市長から辞令交付をしていただきました。

それから次は、今年1月に大阪府立りんくう翔南高等学校の存続要望のために訪問して以来、いろいろと連携しております。このわくわく教室は、市内の小学生の親子に呼びかけて、7月29日に開催してくださることになりました。内容は、書道やパソコン、夏休みの理科作品を作るなど、専門的な先生と一緒に体験するというごさいます。そして、本日の午前中に私を含む2市2町の教育長が、りんくう翔南高等学校に行ってみりました。その時の写真ですが、これはパソコン室でタイピングを練習している様子です。これまで生徒は、若干落ち着いていない時期もあったらしいですが、本日見に行ったら本当に静かで、いい雰囲気の中で授業が行われていました。厳しい決まりで縛るのではなく、発達支持的生徒指導と言う、子どもたちに寄り添い、フォーマルな場面を設定してマナー指導をしたそうです。子どもたちにこのような場面では、どのように振る舞うべきか、どんな服装が似つかわしいかというようなことを語りかけながら、子どもに寄り添う生徒指導を実施して、落ち着いてきたと報告をしてくださいました。

次は、いつもの教育を考えるデータの紹介です。子どもたちの国語力が危ない、言語能力が危ないという例を、「ルポ 誰が国語力を殺すのか」石井光太著の抜粋を御紹介します。ケース①ある昼休み時間に、男子生徒が同級生を一方的に殴りつけ、けがを負わせるという事件が起きた。被害者の男子生徒は、目の上をぱっくりと切り、鼻骨を折った。教員は2人の生徒を呼び、何がけんかの原因かを問いただした。す

ると、休み時間に行われた次のような会話が原因だった。会話の内容を紹介します。男子生徒A「なあ、この間のアレってどういうつもり?」、男子生徒B「は? どういうつもりって何?」、男子生徒A「ウザっ、とぼけんなよ。こっちが訊いていることに答えろよ」、男子生徒Bはそんなこと言われても分かりませんからね。男子生徒B「意味不明。ウザはお前だろ」、男子生徒A「クソウザ、死ね」、男子生徒B「ざけんじゃねえよ!」と言ってパンチが入り始めたということです。中身が全然ない会話というか、訳の分からない会話です。子どもたちの中で、結構こういう会話が増えているようで、SNSもそうですが、何がいいのか分からないけど「いいね」を押すというように、会話がなくなっているように思います。そもそも人間は、言葉で物を考える動物ですから、今の子どもたちはボキャブラリーが減ったり、言葉が上手じゃなかったり、主語述語が抜けていたりというような状況が起きているなど感じます。先日の校園長会でも、こういうことに気をつけて子どもたちの言語力をしっかりとつけてあげてくださいというお話をしました。同じように子どもたちの言語能力が危なくなっているという話が新聞に載っていました。東海大学医学部医学科総合診療学系精神科の三上克央教授の調べで、「自殺未遂をした子どもたちの8割が死にたい気持ちを誰にも相談していない」ということです。反対に、感情を言葉に出せるようにすることで、自殺予防につながる可能性があるということが書いてありました。そのため、子どもたちにしっかりと自分の気持ちを、できるだけリアルに細かく言えるように指導し、言える環境を日頃から作っていくということが大事だと思っています。

次に、前回の教育委員会会議で、教員の未配置の話をしました。泉南市では4月1日に全校配置できていると聞いていますが、他県では年度初めに教員を配置できない状況があるという資料を見ていただいたと思います。その原因

として考えられることということで、朝日新聞の調査が載っていたので紹介したいと思います。未配置の要因として、支援学級と通級指導教室の急増、そして大阪府では二、三十代の教員が多く、産休・育休の取得者が多く、最近では男性の育休取得者が増えています。当然のことですが、このような理由が要因となって、未配置が増えつつあるということです。

最後は、情報としてデイジー教科書を御紹介します。これも前回の教育委員会会議でお話しました「多様性の包摂」です。発達障害の子どもや外国にルーツのある子どもなど、日本語が分かりにくいという子どもに対して、音声や画像をタブレットで再生できる電子化されたデイジー教科書が使われています。どんなところがいいのかというと、文字を読んでくれて、読んでいるところに黄色いハイライトが出てきます。今どこを読んでいて、表示されている文字をどう読むのかが分かりやすいということです。2030年度から新しい学習指導要領が施行されるに当たり、紙の教科書か、デジタル教科書と紙の教科書か、またはデジタル教科書だけといった選択が始まるということをおっしゃっています。

私の報告は以上でございます。

(教育長報告)

○上中教育長 ただいまの報告に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。

飯沼委員お願いします。

○飯沼委員 7月に子育てフォーラムが、泉南市総合福祉センターあいぴあ泉南でされたときにCIRメンバーがお手伝いに来られていたとおっしゃられましたが、泉南市は海外から移住される外国の方が増えてきているのですか。

○上中教育長 住民として外国の方が増えてきているか、桐岡教育部長お願いします。

○桐岡教育部長 先日、泉南市人権協会の総会で同じような質問があり、市長からは増えているとの答弁がありました。以前は、約6万の人口に対して約600人が外国の方でしたが、今は1,200人程度に増えているようです。

○上中教育長 ありがとうございます。
飯沼委員。

○飯沼委員 日本語が分かりにくい方に対して、教科書だけで対応するのではなく、他にも取り入れていったほうがいいだろうなと思って質問させていただきました。ありがとうございました。

○上中教育長 ありがとうございます。日本は海外の方々を受け入れて、一緒にこの国を発展させていくということで言えば、日本語を覚える機会をきちんと保障していかないといけないということですね。

ほかにございませんでしょうか。

ないようですので、以上で、本報告を終了いたします。

次に、日程第4、報告第2号、事務局報告を議題といたします。

教育委員会事務局職員の人事異動について、桐岡教育部長から報告があります。

○桐岡教育部長 日程第4、報告第2号、事務局報告(1)、教育委員会事務局職員の人事異動について、説明報告をさせていただきます。資料は、教育委員会事務局職員の人事異動(令和8年7月1日付)を御覧ください

今年度は、市長選挙の年でありました。ただし、実際は無投票で再任となりました。市長が2期目を迎えるに当たりまして、7月1日付で職員の人事異動が行われたものです。

本資料は、令和8年7月1日付の教育委員会事務局におけます人事異動、具体的には、転入、部内異動等、転出、この3つを掲載しています。

まず教育委員会事務局におきましては、教育部教育総務課学校給食センター系の名称が教育部教育総務課学校給食係へと変更となったことにより、部内異動等が生じております。まず1段目、課長級といたしまして、大植教育部教育総務課参事（学校給食センター担当）から教育部教育総務課参事（学校給食担当）に役職名が変更となっております。2段目、係長級といたしまして、新谷教育部教育総務課学校給食センター係長が教育部教育総務課学校給食係長へ変更。3段目、主任級といたしまして、北浦教育部教育総務課学校給食センター係主任が教育部教育総務課学校給食係主任へ変更。4段目係員として、都宮教育部教育総務課学校給食センター係（行政経営部付）が教育部教育総務課学校給食係（行政経営部付）へ変更となっております。

次に転出として、係長級の1行目、牧川教育部指導課学校指導係長が行政経営部デジタル推進課デジタル推進係長として転出しております。そして係長級の3行目、松野行政経営部デジタル推進課デジタル推進係長が、このたび教育部指導課学校指導係長として転入しております。主な異動は、以上となります。

資料の2ページ目は、このたびの人事異動を反映しました、令和8年7月1日時点の教育委員会事務局の職員配置図となり、青の網かけ部分が異動のあった職員となります。

これが、新たな事務局の体制となりますので、今後ともよろしく願いいたします。

報告につきましては、以上です。

○上中教育長 ただいまの報告に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、以上で、本報告を終了いたします。

次に、日程第5、議案第1号、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会委員の委嘱又は任命についてを議題といたします。

本議案の説明を森生涯学習課参事（人権・スポーツ担当）からお願いします。

○森生涯学習課参事（人権・スポーツ担当） それでは、日程第5、議案第1号、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会委員の委嘱又は任命について御説明いたします。資料1ページを御覧ください。

本市の市立体育館等の施設につきましては、現在三幸株式会社様が指定管理者として管理運営を実施しております。その指定管理期間が今年度末となっているため、来年度以降の指定管理者を決定する必要があります。そのため、泉南市附属機関に関する条例第2条第2号別表第2に定める、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会を設置し、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会委員を委嘱又は任命する必要があるとございます。このたび、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会規則第3条の規定により、承認を求めるものです。提案理由といたしまして、泉南市立市民体育館等指定候補者選定委員会委員として適任者と認め委嘱又は任命したいため、提案するものでございます。

個人名の公表につきましては、審査の公正性・中立性を厳格に確保するとともに、提案事業者等からの不当な接触や利害誘導の介入を防止する観点から、指定候補者等選定委員会による選定プロセスがすべて終了するまでの間、控えさせていただきますので、議案書にてご確認ください。

簡単ではございますが、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、以上で質問、意見等を終了し、議案第1号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに

御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第6、議案第2号、泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）からお願いします。

○松本生涯学習課主幹（青少年センター館長）
それでは日程第6、議案第2号、泉南市立青少年センター運営委員会委員の委嘱について御説明申し上げます。資料を御覧ください。

泉南市立青少年センター運営委員会規則第3条第2項の規定により、泉南市立青少年センター運営委員会委員に次の者を委嘱したいので、泉南市教育委員会の事務委任等に関する規則第2条第1項第12号の規定により、承認を求めるものでございます。

現在、泉南市立青少年センター運営委員会は泉南市立青少年センター運営委員会規則第3条第1項に基づき15名で構成しておりますが、このたび令和8年7月1日付の人事異動に伴い川端豊委員が退任となりましたので、同規則第4条第2項の規定に基づき、残任期間につきまして辻嘉彦行政経営部長を適任者と認め、新たに任命したいので、御提案するものです。

説明につきましては、以上となります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、以上で質問、意見等を終了し、議案第2号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第2号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第7、議案第3号、泉南市立図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。

本議案の説明を上柴文化振興課長からお願いします。

○上柴文化振興課長 私から、ただいま上程されました、議案第3号、泉南市立図書館協議会委員の任命につきまして御説明申し上げます。

まず、泉南市立図書館協議会という機関は、図書館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機関でございます。

それでは、議案書の1ページを御覧ください。泉南市立図書館条例第5条の規定により、それぞれの分野で適任と考えられる方々を泉南市立図書館協議会委員に任命したいので、承認を求めるものでございます。

提案の理由につきましては、現在の泉南市立図書館協議会委員が令和8年7月31日をもって任期満了となるため、議案書に記載の方々を適任者と認め再任または新たに任命したいので、提案するものでございます。

まず社会教育の関係者として、ボランティア団体泉南市絵本とおはなしの会代表の荒井純子氏。学校教育の関係者として、一丘小学校校長の井内俊文氏。それから社会教育の関係者として、泉南市婦人団体協議会代表の梶本道代氏。市民公募委員として、小崎敬介氏。社会教育の関係者として、図書館応援団代表の田中悦氏。家庭教育の向上に資する活動を行う者として、すまいるママ代表の西川郁代氏。最後に学識経験のある者として、高知大学名誉教授の渡邊春美氏。以上7名の者を適任者と認め任命したいと考えてございます。

また、泉南市立図書館協議会委員の任期は、同条例第7条の規定により2年となっており、令和8年8月1日から令和10年7月31日までとなります。

以上、簡単ではございますが、議案第3号、泉南市立図書館協議会委員の任命についての御説明とさせていただきます。

御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、以上で質問、意見等を終了し、議案第3号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○上中教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第3号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第8、その他、泉南市立学校園における学級閉鎖等状況について、三野教育部参与兼指導課長から説明があります。

○三野教育部参与兼指導課長 それでは日程第8、その他(1)としまして、泉南市立学校園における学級閉鎖等状況について、報告させていただきます。資料の令和8年度泉南市立学校園における学級閉鎖等状況(学校園別)を御覧ください。

この報告につきましては、令和8年度では初めてになりますので、少し詳細に説明をさせていただきます。

今回の報告につきましては、令和8年7月1日現在で取りまとめたものでございます。まず、表になりますが、色のところの説明をさせていただきます。薄い黄色はインフルエンザによる学級閉鎖、薄い緑はコロナウイルス感染症によ

る学級閉鎖、薄い青はその他となります。水ぼうそうや、感染性胃腸炎等がその他に含まれています。また、太枠で囲まれているものは学年閉鎖ということで、学年で閉鎖となった場合にこの太枠をつけさせていただいております。中段の表のところが学校園別で発生した状況を記載する表になっています。一番下のところが、泉南市のインフルエンザに係る学級閉鎖状況としまして、国及び大阪府でインフルエンザの流行シーズンというものが発表されています。その期間の中で最初に学級閉鎖が発生した日と最後に学級閉鎖を行った日等をまとめています。今回は、赤字のところについての報告となります。まずは中段のところですが、学級閉鎖として、今年度は6月24日から25日にかけて、西信達小学校でコロナウイルス感染症による学級閉鎖が1件ございました。これが令和8年度最初の学級閉鎖の報告でございます。

2点目としましては、下段の泉南市のインフルエンザに係る学級閉鎖状況として、赤字の部分が令和7年度最終のまとめの報告となります。昨年度の国及び大阪府が定める流行シーズンとしましては、令和7年9月1日から令和8年4月26日までが流行シーズンとされておりました。この流行シーズン内で、インフルエンザの学級閉鎖が行われた泉南市内で最初の日付が令和7年11月6日、そして最後に学級閉鎖を行った日が令和8年3月21日となっています。そして、年度別のまとめとしまして、13校園で、のべ71学級・学年が閉鎖になっています。今年度は、6月にコロナウイルス感染症で学級閉鎖がございまして、昨年も同様の時期にほかの学校でコロナウイルス感染症による学級閉鎖がございました。9月から11月頃にインフルエンザの流行シーズンに入りますが、コロナウイルス感染症に関しては様々な時期で流行があると考えています。これらを踏まえ泉南市教育委員会事務局としまして、各学校園の流行の状況を適宜情報提供しながら、各学校園の対応についても指示をしていきたいと思っております。

ます。

なお、学級閉鎖につきましては、学級人数に対して、感染症ごとに欠席率15%を基準に学校医と相談した上で、学校と教育委員会の協議を踏まえて決定することになっております。インフルエンザとコロナウイルス感染症は、学級閉鎖を別々でカウントすることになっておりますので、お知りおきください。

以上、泉南市立学校園における学級閉鎖等状況についての報告とさせていただきます。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

次に、JETプログラムメンバーについて、野々瀬人権国際教育課長から説明があります。

○野々瀬人権国際教育課長 それでは、私からその他（2）といたしまして、JETプログラムメンバーについて説明をさせていただきます。資料の泉南市JETプログラムメンバー一覧表を御覧ください。

下段のグレーで網かけをしております、10名のALT、CIRにつきまして任期満了ということで、退職されるということになっております。この夏は、JETプログラムの開始当初からのメンバー7名が5年間の任期を満了して、退職ということになっております。それに伴いまして、上段のオレンジ色の11番から22番に記載しておりますメンバーが、新しく着任することになっております。特に14番の7月27日に任用開始いたしますCIRのメルビン氏は、泉南市の姉妹都市であるフィリピン共和国のダバオ市から来られます。また改めて皆様に御挨拶していただくと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

ALTにつきましては、記載しております小、中学校に配置することによって、8月3日以降、ALT19名、CIR3名の22名の任用ということになっております。

以上となります、よろしくお願いいたします。

○上中教育長 ただいまの説明に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

以上で本日の日程はすべて終了しました。

これまでの報告、議案のほかに、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようでしたら、次回、泉南市教育委員会会議令和8年第8回定例会の日程について、お諮りしたいと思います。

原則、第3水曜日の前後としておりますが、日程について西山教育総務課長から提案をお願いします。

○西山教育総務課長 それでは私から、次回第8回泉南市教育委員会会議の開催日につきまして、8月の第3水曜日である8月19日15時00分から開催ということで、提案させていただきます。

いかがでしょうか。

○上中教育長 事務局から提案があった日程でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○上中教育長 それでは、次回の教育委員会会議定例会の開催日時は、令和8年8月19日（水）15時00分からといたします。

以上をもちまして、泉南市教育委員会会議令和8年第7回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時36分閉会

署 名 （ ）

（ ）